# 江戸時代 正誤問題　解答



名前　　月　日　　点

## 正誤問題（10問）

**1　正しいものを1つ選びましょう。**　エ

ア　江戸時代、自分の田畑をもち、年貢を納める責任を負った農民を町人という。
→ 正しくは「本百姓」

イ　江戸幕府の5代将軍の徳川吉宗が、犬などの動物を大切にすることを命じた「生類憐みの令」を出した。
→ 正しくは「徳川綱吉」

ウ　江戸時代、京都には全国から米や物資が集まり、「天下の台所」とよばれた。
→ 正しくは「大阪」

エ　19世紀初め、江戸を中心に町人文化の化政文化が栄えた。

**2　誤っているものを1つ選びましょう。**　ウ

ア　鎖国中、長崎の人工島の出島でオランダとの貿易が許された。

イ　伊能忠敬が全国を測量し、正確な日本地図を作った。

ウ　元禄文化の時期に、松尾芭蕉が人形浄瑠璃・歌舞伎の脚本を書いた。
→ 正しくは「近松門左衛門」

エ　江戸幕府は、大名を統制するために武家諸法度を定めた。

**3　正しいものを1つ選びましょう。**　エ

ア　ドイツ人のクラークが長崎のオランダ商館の医師として来日し、日本人に西洋の医学を教えた。
→ 正しくは「シーボルト」

イ　江戸時代、庶民の子どもは適塾で読み・書き・そろばんを学んだ。
→ 正しくは「寺子屋」

ウ　1862年、薩摩藩の行列を横切ったイギリス人が武士に斬られる大塩平八郎の乱が起きた。
→ 正しくは「生麦事件」

エ　1837年、ききんに苦しむ人々を救おうと、元幕府役人が大阪で大塩平八郎の乱を起こした。

**4　誤っているものを1つ選びましょう。**　ウ

ア　1860年、安政の大獄に反発した水戸藩などの浪士が大老の井伊直弼を暗殺する桜田門外の変が起きた。

イ　松平定信は寛政の改革を行い、朱子学を重視して倹約を進めた。

ウ　1637年、キリスト教徒への迫害や重い年貢に反発して、九州で加賀の一向一揆が起きた。
→ 正しくは「島原・天草一揆」

エ　1866年、坂本龍馬らの仲立ちで、薩摩藩と長州藩が倒幕のために手を結んだ。

**5　正しいものを1つ選びましょう。**　ウ

ア　江戸時代、農民は座の組織によって、年貢の納入や犯罪の防止に連帯して責任を負わされた。
→ 正しくは「五人組」

イ　浮世絵師の喜多川歌麿が「東海道五十三次」をえがいた。
→ 正しくは「歌川広重」

ウ　1603年、徳川家康が征夷大将軍となり、江戸幕府を開いた。

エ　将軍の徳川吉宗が、徳川家康をまつる日光東照宮を今のような豪華な建物に建てかえた。
→ 正しくは「徳川家光」

**6　誤っているものを1つ選びましょう。**　エ

ア　浮世絵師の葛飾北斎が「富嶽三十六景」をえがいた。
イ　1854年、江戸幕府はアメリカと日米和親条約を結び、日本は開国することになった。
ウ　江戸時代、北前船が北海道や日本海側の港から、下関をまわって大阪へ物資を運んだ。
エ　17世紀末〜18世紀初め、上方（京都・大阪）を中心に、町人が担い手となって桃山文化が栄えた。
→ 正しくは「元禄文化」

**7　正しいものを1つ選びましょう。**　イ

ア　1864年、薩摩藩は外国船を砲撃した報復として、4か国の連合艦隊に下関の砲台を占領された。
→ 正しくは「長州藩」
イ　浮世草子の作者の井原西鶴が、「日本永代蔵」「世間胸算用」などで町人の生活を描いた。
ウ　干鰯や油かすのように、お金を出して買う肥料を下肥という。
→ 正しくは「金肥」
エ　1863年、生麦事件の報復としてイギリス艦隊が鹿児島を砲撃し、戊辰戦争が起きた。
→ 正しくは「薩英戦争」

**8　誤っているものを1つ選びましょう。**　エ

ア　水野忠邦は天保の改革を行い、株仲間の解散などを進めた。
イ　江戸時代、九十九里浜などでとれたいわしを干して、肥料の干鰯がつくられた。
ウ　1853年、アメリカの使者のペリーが浦賀に来航し、日本に開国をせまった。
エ　吉田松陰が長州藩の萩で教えた適塾で、高杉晋作や伊藤博文らが学んだ。
→ 正しくは「松下村塾」

**9　正しいものを1つ選びましょう。**　エ

ア　1825年、幕府は薪水給与令を出し、日本に近づく外国船を砲撃して追い払うよう命じた。
→ 正しくは「異国船打払令」
イ　1600年、徳川家康が本能寺の変で石田三成らを破り、天下の実権をにぎった。
→ 正しくは「関ヶ原の戦い」
ウ　江戸幕府8代将軍の徳川家光が、享保の改革を行い、目安箱を設けた。
→ 正しくは「徳川吉宗」
エ　本居宣長が「古事記伝」を著し、国学を大成した。

**10 誤っているものを1つ選びましょう。**　イ

ア　元禄文化の時期に、松尾芭蕉が「奥の細道」を著し、俳諧を大成した。
イ　江戸幕府3代将軍の徳川家康が、参勤交代を制度化し、鎖国を完成させた。
→ 正しくは「徳川家光」
ウ　杉田玄白が「解体新書」を出版し、蘭学の発展に貢献した。
エ　長州藩の吉田松陰が松下村塾で多くの人材を育て、安政の大獄で処刑された。